

民間資源回収場所における回収量等調査

調査対象年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
回収箇所数	32箇所	41箇所	42箇所
回収品目別設置箇所数			
段ボール	30箇所	38箇所	39箇所
アルミ缶	26箇所	32箇所	29箇所
スチール缶	6箇所	7箇所	4箇所
ガラスびん	1箇所	2箇所	2箇所
回収量合計①	2,671 t/年	3,681 t/年	3,482 t/年
稲沢市における資源回収量②	5,139 t	4,838 t	4,502 t
全体に占める割合①÷(①+②)	34.2%	43.2%	43.6%

- ・ 調査対象42箇所のうち、3箇所はデータ非公開であった。
- ・ 新聞紙、チラシ及び雑誌、雑がみは1箇所、段ボールは3箇所を除き回収がある。
- ・ ガラスびんは市内2箇所で回収していたが、うち1箇所(データ非公開)は令和元年10月末で廃止となった。
- ・ 回収箇所数は年々増加しているものの、新型コロナウイルスの影響による資源の市場価格の低下により、今後しばらくは横ばいもしくは減少となる可能性がある。
- また既存の回収場所についても、市場価格低下が目立つ品目(スチール類、ガラスびんなど)の受入れを停止しているところがあり、回収量への影響が予想される。
- 民間資源回収場所での取扱いが少ないスチール類、ガラスびん、ペットボトル等については、引続き行政回収による排出機会の確保が必要となる。
- ・ ②は、集団回収、分別収集、地域ステーション及び拠点回収での回収量の合計。